PRIMERGY

B7FY-0931-01

TX600

ラックマウント変換機構を選択された方へ

はじめに

この度は、PRIMERGY TX600 および PRIMERGY TX600 ラックマウント変換機構（PGBR1CK17）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げの PRIMERGY TX600 は、ラックに搭載して使用するラックマウントタイプです。
本書は、ラックマウントタイプのサーバをラックに搭載する方法について、説明しています。本書をご覧になり、PRIMERGY TX600 を正しくお使いいただきますよう、お願い致します。
なお、本書には以下の内容が含まれています。

・『PRIMERGY TX600 添付マニュアル』の記述への追加・訂正事項（CA92276-5041）
・『PRIMERGY TX600 ラックマウント変換機構を選択された方へ』の記述への追記・訂正事項』（CA92276-5058）

2004 年 5 月

ラックについて

サーバを搭載できるラックについては、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET の PRIMERGY 向けホームページ（http://www.fmworld.net/biz/primergy/）内の『製品ラインナップ』から『周辺装置』を参照してください。

本書の表記

■ 警告表示

本書ではいろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
PRIMERGY TX600	サーバ本体／本サーバ

■ サーバタイプの呼び方

本サーバの形態を区別して、以下の名称を用いて説明しています。

タイプ	本文中の表記
据え置きタイプ	ペディスタルタイプ
ラックに搭載するタイプ	ラックマウントタイプ

会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
All Rights Reserved,Copyright© FUJITSU LIMITED 2004

目次

1　梱包物 5

2　サーバ本体のラックへの搭載 6

2.1　サーバ本体の取り付け位置の選択 6

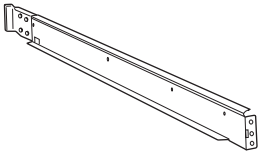
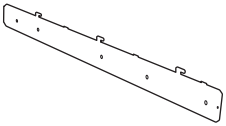
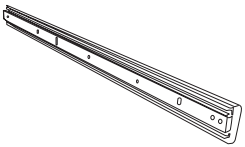
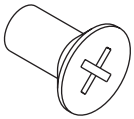
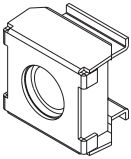
2.2　レールの取り付け 6

2.3　ラックへの搭載 9

2.4　電源を入れる前の確認 11

1　梱包物

本サーバには、ラックに搭載するためのラックマウントキットが同梱されています。
ここでは、ラックマウントキットの部品を示します。
作業を行う前に、以下のリストに従って部品がすべてそろっているかどうかを確認し、万一足りない部品があった場合は担当営業員に連絡してください。

部品	
□ブラケット A：左右各 1 	□ブラケット B：左右各 1 
□スライドレール：左右各 1 	□ M5 サラネジ：8 個 
□ M4 サラネジ（長）：4 個	□ M4 サラネジ（短）：10 個
□ M4 ネジ：8 個	□ワッシャー：8 個
□ M5 ラックナット：4 個 	

2　サーバ本体のラックへの搭載

ここでは、サーバ本体の取り付け位置の選択からラックへの搭載までの手順について、説明します。

⚠注意

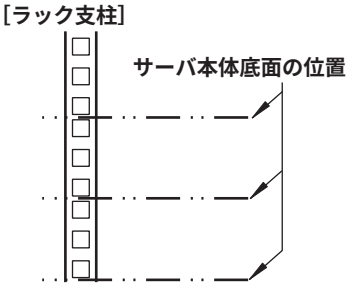
・サーバ本体をラックに搭載したりラックから取り外したりする場合は、必ず担当保守員に連絡してください。

2.1　サーバ本体の取り付け位置の選択

1　ラックのフロントドアとリアドアを開けます。

2　サーバ本体を取り付ける位置を決めます。

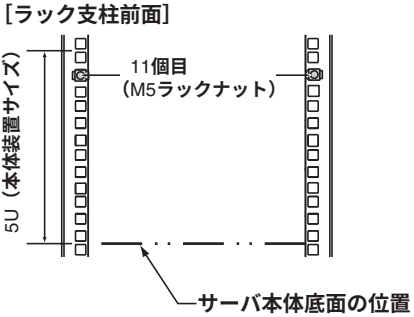
任意の、ラック支柱の穴の間隔が狭い位置にサーバ本体の底面がくるように合わせます。



2.2　レールの取り付け

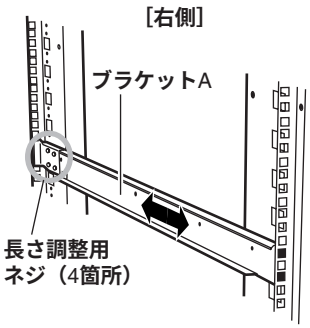
1　M5 ラックナットを取り付けます。

本サーバは 5U 使用します。
右図の位置に、ラック支柱の内側からツメを引っ掛けて取り付けます。



2 ブラケット A を、ラックの幅に合わせます。

1. ブラケット A の長さ調整用ネジをゆるめます。
2. ブラケット A の長さをラックの幅に合わせ、ネジを締めます。

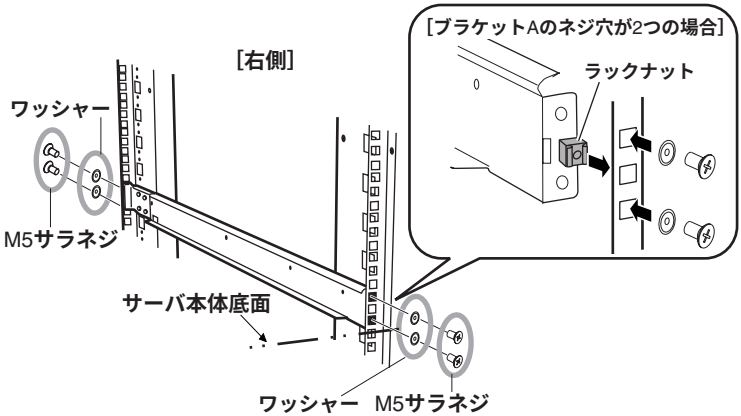


POINT

- ブラケット A の長さ調整用ネジはタッピンネジです。ネジ位置を変えた場合、最初はネジ穴が開いていないため、ネジを回すとき少し固くなります。

3 ブラケット A をラック支柱に取り付けます。

ブラケット A は、前側の先にネジ穴が 2 つあるものと 3 つあるものがあります。



1. ネジ穴が 2 つの場合は、M5 ラックナットを取り付けます。
   サーバ本体底面から 2 個目の位置に、ラック支柱の内側から取り付けます。

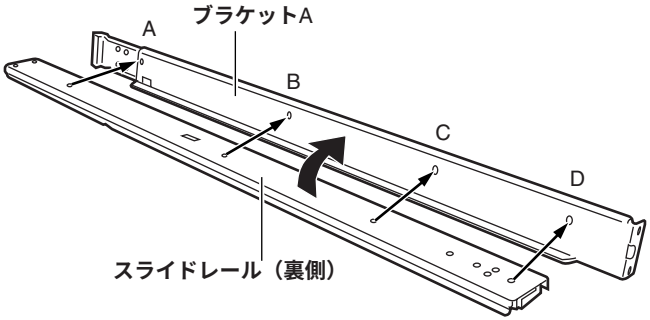
POINT

- ネジ穴が 3 つあるブラケット A の場合
  ここでは M5 ラックナットは不要です。本製品には M5 ラックナットが 4 個添付されていますが、使用するのはそのうち 2 個（手順 1 で使用）となります。

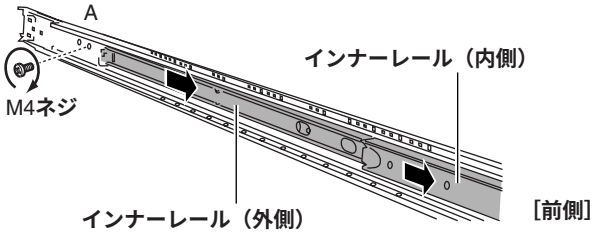
2. ブラケット A を、サーバ本体底面から 1 個目と 3 個目の位置に、M5 サラネジとワッシャーで固定します。

4 ブラケット A にスライドレールを取り付けます。

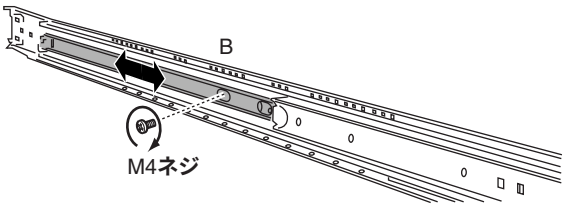
取り付けには、M4 ネジを使用します。ネジ位置（A ～ D）は、以下のとおりです。



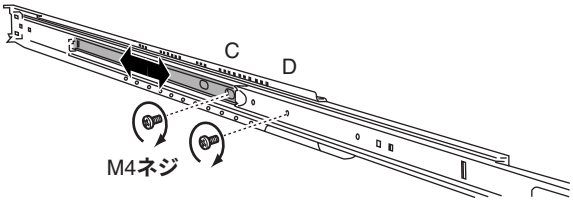
1. 位置 A を固定します。
   1. スライドレールをブラケット A に合わせ、インナーレール（内側）を、カチッと音がするまで引き出します。
   2. インナーレール（外側）を少し引き出し、位置 A をネジ止めします。



2. 位置 B を固定します。
   インナーレール（外側）をスライドさせ、インナーレール（外側）のネジ穴から位置 B が見えるようにしてネジ止めします。

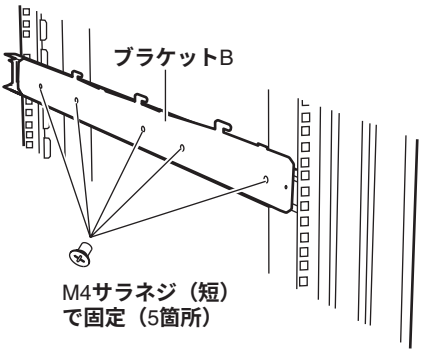


3. 位置 C、D を固定します。
インナーレール（外側）をスライドさせ、インナーレール（外側）のネジ穴から位置 C、D が見えるようにしてネジ止めします。



4. 引き出したインナーレールを、元の位置に戻します。

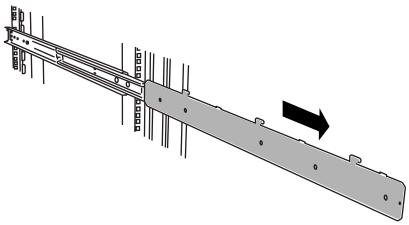
5　スライドレールにブラケット B を取り付けます。



6　反対側も手順 1 ～ 5 と同様にして取り付けます。

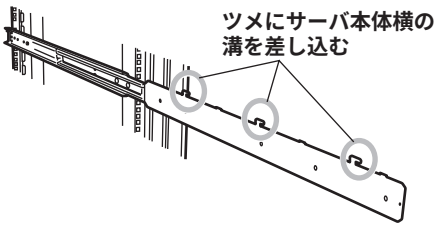
2.3　ラックへの搭載

1　ブラケット B を、カチッと音がするまで引き出します。

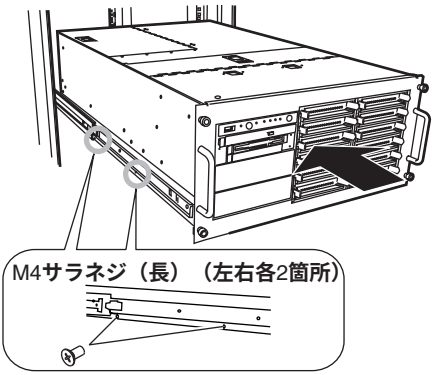


2 サーバ本体をブラケット B に取り付けます。

1. ブラケット B のツメにサーバ本体横の溝を差し込むようにして、ラックに載せます。

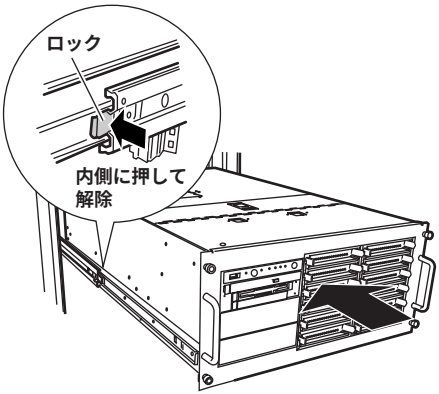


2. サーバ本体を後方に少しスライドさせ、ネジで固定します。



3 サーバ本体をラックに搭載します。

左右のスライドレールのロックを押しながら、さらに後方にスライドさせ、ラックに搭載します。

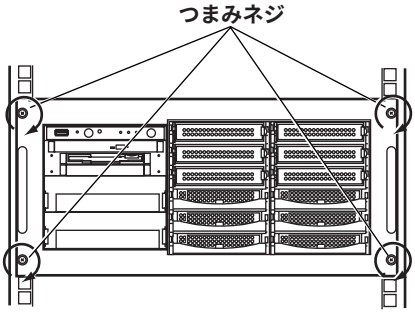


⚠ 注意

・サーバ本体をスライドさせるときは、指や衣服がはさまれないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

4　サーバ本体とラックを固定します。

サーバ本体とラックをつまみネジで固定します。



重 要

- ラックにサーバ本体や周辺装置が搭載されていない場合には、 ラックに添付のブランクパネルを取り付けてください。

2.4　電源を入れる前の確認

サーバに電源を入れる前に、必ずすべてのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

なお、各ケーブルの接続方法については、『はじめにお読みください』を参照してください。

PRIMERGY TX600

ラックマウント変換機構を選択された方へ

B7FY-0931-01-00

発 行 日　2004 年 5 月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK™
Trademark of American Soybean Association
大豆インキで印刷しています。

このマニュアルはリサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。

B7FY0931 01